

一般社団法人みどりの輪

R6年度 事業報告書

はじめに

当法人の目的

.....



- 異業種との連携を通じた障がい者の雇用創出、職場定着、賃金の向上を目指します。
- 農業関係団体等と連携し、不用食材の有効活用による環境保全に向けた取り組みを行います。
- 一連の事業活動を通して『衣食住』について学びます。

今現在の日本が抱える問題として少子高齢化・人手不足が大きく取り上げられています。また、時代の流れや景気に左右されることなく人口構造が変化しつつも常に抱える問題として、障がい者（児）については、食生活や環境問題と共に無くなることない課題です。

当法人ではこの問題について考え、福祉と様々な業種が連携することによって、今の会社が抱える問題の解決に取り組み社会貢献活動をしながら、人として正しいこと本来あるべき姿は何かを『衣食住』を通して学んでいきます。連携先である各福祉事業と様々な業種を繋ぐハブとしての役割を担い、それぞれが連携することで新たな価値を創造します。

今後の日本が抱える問題として人口減による人手不足があげられますが、AIの進化によって機械やシステムまたは外国人労働者の受け入れによって賄える部分もありますが、やはり人の手によってでしかできない、心の通った仕事を日本国内の人たちで解決していくことが理想です。

【活動実績】

①宿題カフェ

2023年5月18日より奈良県奈良市芝辻町にあるcojikanopanyaのイートインスペースをお借りして宿題カフェをスタート。

2024年5月～：

奈良市より令和6年度子ども見守り強化事業の居場所型として毎週水曜日に奈良市のパン屋のイートインスペースを会場として貸し切りで借り、地域のひとり親家庭等の子ども達に対して学習支援事業を開始。毎回20名程度の子ども達が利用。

【令和6年度子ども見守り強化事業助成金により運営】

2024年7月～：子ども家庭庁令和6年度ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業として毎週月火木金曜日の宿題カフェ事業を学習支援事業として運営開始。登録児童数は約80人を超えており、1日あたり20名程度の子供達が利用。

【子ども家庭庁令和6年度ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業助成金により運営】

②宅食事業

2024年5月～：

奈良市より令和6年度子ども見守り強化事業のアウトリーチ型として地域のひとり親家庭等の子ども達に対して毎週第1.3水曜日に毎回約25世帯45名程度の家庭に宅食を開始。

【令和6年度子ども見守り強化事業助成金により運営】

2024年7月～：

子ども家庭庁令和6年度ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業として毎週第2.4水曜日毎回約25世帯45名程度の家庭に宅食を開始。

【子ども家庭庁令和6年度ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業助成金により運営】

③地域食堂

2024年1月より日頃から宿題カフェを利用してくれている近隣の子ども達と加盟団体である就労継続支援事業所・放課後デイサービスなどの福祉事業所と連携して、毎月不定期土曜日にcojikanopanyaにて新大宮cojika食堂を開始。

奈良中央卸売市場より寄付された規格外野菜の有効活用として毎回150食のカレーを用意。年間267kgのフードロス削減につながった。

その他、地域食堂開催時には規格外野菜のパントリーも行い、167kgを配布。活用しきれない規格外野菜についてはフードバンクにて引き取り後、パントリー事業で活用

④催事出店

福祉活動の一環として、福祉や地域のイベントをはじめとした様々な催し物への飲食物の出店販売、企画・運営・販売代行などを実施。

当日の現場での販売だけでなく、食材仕込みや梱包資材・販促品の製作などを加盟団体である障害福祉施設を運営している会社と連携しながら、成果が目に見えない単純な内職作業ではなく、携わった全員の社会参加が目に見える形で実感できる活動を行った。